

いわきがわ りゅういき せいたいけい  
岩木川流域生態系ネットワーク

岩木川のまわりに広がる自然や農地は、実にさまざまな生き物のすみかで、わたしたち人間の生活にもたくさんの恵みをもたらしてくれる「たからもの」です。岩木川流域生態系ネットワークは、岩木川流域での人と自然のかかわりを知っていただく活動を通じて、このたからものを未来へつなぐ取組みを進めています。

⑨里山

里山はゲンジボタルやトノサマガエルなどのふるさと。米づくりや林業、木工などの場にもなっています。

⑧岩木川と支流

岩木川とその支流では、アユやウグイ、カワヤツメ、モクスガニなどが行き来し、シゲタ漁など古くからの魚取りが受けつがれています。川をほってできた湿地は、トンボの楽園です。

⑦岩木川の河畔林

岩木川にはヤナギなどの林がつらなります。オオタカが子育てし、小鳥が渡りのとちゅうで立ち寄るなど、広い生態系をつなぐ「道」としてとても大切です。

⑥津軽平野の水田

岩木川流域に広がる田んぼには、キタノメダカやヤリタナゴがすみ、水路との行き来を助ける水田魚道もつくられています。春には北へ帰るガンやハクチョウが群れで落ちモミをついばみます。

⑤十三湖

重要湿地500になっている、岩木川河口に広がる汽水湖。ヤマトシジミ漁がさかんです。スズガモをはじめ、たくさんのガン・カモ・ハクチョウが渡りの休み場所として使います。魚などを食べるオジロワシが一年を通してすんでいます。

④下流域のヨシ原

日本の数カ所ではか子育てしないオオセッカをはじめ、コジュリンやチュウヒ、クイナ、マークオサムシといった、ヨシ原をすみかとする生き物たちの楽園です。楽園を未来まで残すためには、ヨシをかり取ったり火入れをしたりして人が手を入れることが大切です。かり取ったヨシは、中流域に広がるリンゴ園で受粉に使うマメコバチの巣箱としても使われています。

①岩木山と白神山地

岩木川のみなもとは、岩木山や世界自然遺産の白神山地。広大なブナの原生林にクマタカやクマガラなどが生息し、ツキノワグマをいただくマタギの文化が残っています。

②リンゴ園

津軽地方は国内有数のりんご産地。りんごの木をかじるハタネズミが増えすぎないように、フクロウをりんご農家が大切にしている文化があります。

③津軽平野ため池群

ため池の水は津軽平野の農地をうるおします。重要湿地500で、ガン・カモ・ハクチョウ類が渡りの時にねぐらなどとして利用。カムリカイツブリが子育てし、ガシャモクなどめずらしい水生植物も生えています。

